



2018年1月10日発行

第16号



雪・月・花



2018年スタート！今年は「^{つちのえいぬ}戊戌」の年です。

みなさん、あけましておめでとうございます。2018年になりました。今年の干支はすぐに言えますか？そうです。「^{いぬ}戌」ですね。干支は紀元前1600年頃から中国で使われており、日本には約550年頃に伝来したと言われています。そもそも干支とは、^{じっかん}十干と^{じゅうにし}十二支を組み合わせた60を周期とするもので、暦をはじめとして、時間や方位にも用いられています。十干は『^{きのえ}甲、^{きのと}乙、^{ひのえ}丙、^{ひのと}丁、^{つちのえ}戊、^{つちのと}己、^{かのえ}庚、^{かのと}辛、^{みずのえ}壬、^{みずのと}癸』の10種類からなり、十二支は『^ね子、^{うし}丑、^{とら}寅、^う卯、^{たつ}辰、^み巳、^{うま}午、^{ひつじ}未、^{さる}申、^{とり}酉、^{いぬ}戌、^い亥』の12種類からなっています。これらを順番に1つずつ合わせたものが干支です。ちなみに干支の最初が『^{きのえね}甲子』です。大正13年(1924年)に兵庫県西宮市に作られた野球場はこの年の干支から「^{きのえね}甲子園大運動場」(現在の^{きのえね}阪神甲子園球場)と命名されました。2番目は『^{きのとうし}乙丑』となり、…60番目、いわゆる干支の最後は『^{みずのとい}癸亥』となります。最後まで行くと、また最初に戻るようになっています。今年^{つちのえいぬ}は『^{つちのえいぬ}戊戌』の年になります。



そもそものように十二支の動物が決まったのか知っていますか。日本には古くから十二支が決まる民話が語り継がれています。昔々、年の暮れに神様が動物たちに「元日の朝、新年の挨拶に来たものから十二番目まで、順にそれぞれ一年間、その年の動物の大將にしてやる」という話をします。動物たちは自分こそ1番になろう！と意気込みます。ところが、ネコはいつ神様のところへ行けばいいのかわれてしまったのでネズミに尋ねましたが、ネズミはわざと1日遅れの日を教えました。ウシは「歩くのが遅いから早めに出発しよう」とどの動物よりも先に出発しました。牛小屋の天井でそれを見ていたネズミはウシの背中に飛び乗りました。背中にネズミが乗っていることを知らずにウシはひ

たすら神様の御殿に向かいます。到着したときにはまだ誰も来ていません。「1番乗りだ！」と喜んだウシの背中からネズミが飛び降り、ウシよりも先にネズミが神様のところに行き、ネズミが1番目になりました。そのためウシは2番目に。それからトラ、ウサギ、龍、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの順で神様の御殿に到着しました。途中、サルとイヌは大喧嘩をしたそうです。そこから「非常に仲が悪いこと」を例えて「犬猿の仲」と言います。13番目はカエルでした。カエルはがっかりして「もう帰る」と言い残し、帰っていったそうです。次の日、ネコが到着。嘘の日を教えられたと気づいたネコは怒り、ネズミを追いまわしました。現在もネコがネズミを追いかけるのはこの時の恨みからだと言われています。



戌の干支の特徴は“勤勉で努力家”です。どんなことでも地道にコツコツと頑張ればいい結果が表れてくること
でしょう。現状に満足せず、戌年のいま、“勤勉で努力家”になってみましょう。



日付	主な予定	授業時間	給食
10日(水)	冬休み明け課題テスト 1限:国語 2限:英理 3限:社数	Bタイム5限 (3限までAタイム)	あり
11日(木)		Bタイム6限 (3限までAタイム)	あり
12日(金)		Bタイム6限 (3限までAタイム)	あり
13日(土)			
14日(日)			
15日(月)	全体研修会	Bタイム6限	あり
16日(火)	校内実力テスト	Aタイム6限	あり
17日(水)	生き生き教研授業研究部会	Aタイム3限	あり
18日(木)		Bタイム5限 ※掃除なし	あり
19日(金)	生徒議会・実行委員会	Bタイム5限	あり
20日(土)	土曜教育活動(教育課程外) 部活動公開 ※津田学園入試準備のため、午後、B棟への立ち入り不可		
21日(日)	※津田学園入試会場のため、終日、校内への立ち入り不可		
22日(月)		Bタイム6限	あり
23日(火)		Bタイム6限	あり
24日(水)		Bタイム5限	あり
25日(木)		Bタイム6限	あり
26日(金)		Bタイム6限	あり
27日(土)			
28日(日)			
29日(月)		Bタイム6限	あり
30日(火)		Bタイム6限	あり
31日(水)		Bタイム5限	あり

※予定は変更になる場合がございます。変更の場合はお知らせいたします。